

ていげんこうそう きにゅうようしき
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	りゅう ちやん しる 柳 晴 実
タイトル	ぼ ぐ けいしやうご ぼ ぶん かきやういく き かい ほしやう こ 母語(継承語)・母文化教育の機会を保障し、子どもたちのアイデンティティを育成 するための仕組み作り
内容	<p>① 幼少期から母語・母文化に触れ、勉強できる場を保障する事業の構築。</p> <p>② 県立高校での母語授業の実施。*第2外国語ではなく「母語(継承語)授業」 外国人コミュニティや外国につながるのある人材を活かせる場として講師の 育成も視野に入れたい。</p>
理由	<p>げんざい かながわけん す がいこく こ かず ぞうか おや 現在、神奈川県に住んでいる外国につながる子どもの数は、増加しています。親が 来日して生活基盤を作り、子どもを呼び寄せることも多くなっています。 来日後、日本での暮らしを続ける子どもたち、また日本で生まれた子どもたちの 成長、アイデンティティの育成において、母語や母文化を学ぶ機会を保証しサポ ートする必要があると考えます。保護者は毎日の仕事や生活に追われ、家庭内で 母語・母文化教育を実施するのはとても難しく、学校教育や地域活動の中で学べ る機会を保障することがとても大切だと考えます。</p> <p>① 神奈川県内で実施されている母語教室は6か所(スペイン語、ポルトガル語、 ミャンマー語、タイ語など)、民族学校やコミュニティ内で行われているものもあるが、 限られている。それぞれが NPO法人や個人の尽力により実施されているケ ースが多いのが現状です。すでに個人や NPO団体が実施する事業を支える基金な どは存在しますが、日本語教育の推進のように、神奈川県が積極的に母語・母文化 教育の重要性を認め、その機会を保障する施策や取り組みを作ってほしいと考 えます。</p> <p>県内の母語教室：https://www.kifjp.org/classroom/native-list/</p> <p>② 外国につながる高校生が母語(継承語)に触れ、学ぶ機会を得ることは、アイ デンティティ形成においてとても重要だと思います。</p> <p>神奈川県立高校では鶴見総合高等学校(スペイン語、中国語、韓国朝鮮語)、横浜 国際高等学校(中国語、ハングル、アラビア語、ドイツ語)、神奈川総合高等学校 (ドイツ語、スペイン語、フランス語、ハングル、中国語)で第2外国語として実施。 「外国語」として学ぶだけではなく、「母語・継承語」として学ぶ機会としてとら え、神奈川県の実況に合わせて言語の検討や外国につながる生徒が多い高校に広 げられるようにしたいと考えました。</p> <p>教える側の育成も大切で、日本で育った若者が活躍する場の確保、そして高校生に とって自分の将来を考えるうえで、モデルケースと出会う場としての意味もある</p>

	<p>と考^{かんが}えます。</p> <p>また、外国^{がいこく}につながる高校生^{こうこうせい}だけでなく、日本人^{にほんじん}の生徒^{せいと}にとっても、今後の多文化^{こんご たぶんか}共生社会^{きょうせいしやかい}を築^{きず}いていくうえで、とてもいい学び^{まな}の機会^{きかい}になると考^{かんが}えます。</p> <p>(参考^{さんこう}) 大阪府立門真^{おおさかふりつかどま}なみはや高校^{こうこう}の母語^{ぼご} (第一言語^{だいいちげんご}) 授業^{じゅぎょう} (これまでに、中国語^{ちゅうごくご}、フィリピン語^ご、タイ語^ご、韓国語^{かんこくご}、ポルトガル語^ご、スペイン語^ご、英語^{えいご}等)</p> <p>https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html</p>
びこう 備考	<p>今後^{こんご}の会議^{かいぎ}で、提言構想^{ていげんこうそう}に関係^{かんけい}する内容^{ないよう}について、勉強会^{べんきょうかい}を実施^{じっし}することを検討^{けんとう}しています。どのようなテーマ^{がくしゅう}について学^{がく}習^{しゅう}したいですか？</p> <p>希望^{きぼう}するテーマがあれば、記入^{きにゅう}してください。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 神奈川県^{かながわけん}における母語・母文化教育^{ぼご ぼぶんかきょういく}の現状^{げんじょう} ● 外国人保護者^{がいこくじんほごしや}の意見交流^{いけんこうりゅうかい}会 </div>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	柳 晴 実
タイトル	外国籍県民かながわ会議に関する、広報活動の充実
内容	<p>神奈川県における外国籍県民の県政参加をより一層進めていくために、神奈川県民への県民会議の周知、広報活動を充実させる。</p> <p>そのために、県民会議の役割の中に、広報活動（イベントなどへの参加）を盛り込みそれに伴う予算拡充を行う。</p> <p>ホームページや広報誌の作成なども検討していく。</p>
理由	<p>外国籍県民かながわ会議は、「外国籍県民の県政参加を推進し、外国籍県民が自らに関する諸問題を検討する場を確保するとともに、ともに生きる地域社会づくりへの参画を進めること」を目的として1998年に設置されています。</p> <p>近年、神奈川県で暮らす外国人は増加傾向にあるにもかかわらず、外国籍県民かながわ会議に公募する外国人は減少気味になっています。原因として、県民会議について、国籍に関わらず知っている人がとても少ないことがあげられると思います。</p> <p>今後、神奈川県の多文化共生を進めていくためにも、外国籍県民の県政参加の推進はとても大事であり、当事者の意見を反映できる県民会議の必要性は高まっていると考えます。県民会議について、神奈川県民に知らせ、共に地域社会を創る一員として活動していること、当事者の意見を県政に活かせる場があることを、もっと知ってもらうことで、地域社会への参画を促していきたい。</p> <p>そのために、県民会議の活動を知らせる機会を増やして、アピールしていく必要があると思います。例えば、県内の多文化共生に関連するイベントへの参加、ホームページや広報誌の作成、広く外国籍県民や外国につながる県民の意見を集めることのできる仕組み作り（HPの活用）など。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	い じゅうん 李 周殷
タイトル	けんりつこうこう たぶんかきょうせいしゃかい こくさいりかいきょういく 県立高校にて「多文化共生社会での国際理解教育」について
ないよう 内容	<p>けんりつこうこう こくさいりかいこうざ せっち いぶんか まな 県立高校にて国際理解講座を設置し、異文化を学ぶ。</p> <p>よこはまし しりつしょうがっこう ねんかんひと くに まな じゅぎょう ねんかん 横浜市では、市立小学校にて1年間一つの国のことを学ぶ授業があります。1年間、</p> <p>しょうがっこうぜんこうせい たいしやう すう じゅぎょう ないよう ものた 小学校全校生を対象にすることですので、コマ数、授業の内容は物足りないところが多いと思います。</p> <p>こうこう すう ふ じゅぎょう じっしつてき ないよう と あつか 高校にてコマ数も増やし、授業も実質的な内容を取り扱う。</p> <p>ねんかんがいくじん こうし まね －1年間外国人の講師を招き、</p> <p>せかい くに しゃかい けいざい ぶんか －世界のいろんな国の社会・経済・文化について</p> <p>せかい み にほんしゃかい まな －世界から見られている日本社会について学んでいく。</p> <p>さまざま かたち せかい こうこうせい こうりゅう ば つく －さらに、様々な形で世界の高校生たちとの交流の場を作る。(On/Off)</p>
りゆう 理由	<p>けんりつこうこう たぶんかきょうせいしゃかい こくさいりかいきょういく ふきゅう かくだい 県立高校にて多文化共生社会での国際理解教育を普及・拡大させていただきたい</p> <p>げんざいかながわけん にほん がいくじん おおぜいす きょうせい です。現在神奈川県には日本をはじめ、外国人が大勢住んでいます。共生してい</p> <p>たが あいて まな おわ だいじ おも くためには、お互いに相手のことを学んでいく、分かっていることが大事と思っ</p> <p>がいくじん らいにち にほん ぶんか ことば まな きかい ております。外国人は来日し、日本の文化と言葉を学ぶ機会がたくさんありますが。</p> <p>にほんじん じぶん もと いぶんか まな 日本人には、自分から求めないとなかなか異文化を学ぶチャンスはないと思</p> <p>しゃかいじん まえ がっこう こくさいりかいきょういく がいねん きかい あた います。社会人になる前、学校にて国際理解教育という概念から機会を与えたら</p> <p>いぶんか まな しゃかい で こくさいじん いかでしょうか？異文化について学んだあと、社会に出たら国際人になっている</p> <p>じぶん かわれ かん 自分を彼らは感じられることができるんじゃないでしょうか？</p>
びこう 備考	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討</p> <p>がくしゅう しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>きぼう 希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>たぶんかきょうせい こうほう (多文化共生、広報)</p>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	倉橋 ジェラルデン
タイトル	日本における外国人の高齢化の進展
内容	外国人高齢者多言語支援ラウンジ、外国人高齢者が学び、意見交換できるスペースを作りたい。
理由	<p>・神奈川県に住む外国人のニーズを考えると、多くの外国人が日本で高齢期を迎えていることに気づきます。老後を迎えるにあたり、多くの人が、ゆったりとくつろぎ、楽しみながら学び、過ごせる場所を求めていることに気づきました。日本人と気軽に交流できない外国人高齢者のために、多言語で生活システムに関する相談やアドバイスを受け、日本での老後を楽しく過ごすためのヒントを提供できるような場を作ることを提案します。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>〔神奈川県内に外国人高齢はどのくらいありますか知りたい。〕</p>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	ゆ ばいれい 兪 培麗
タイトル	がくしゅうしえん こうりつこうこうじゅけんとくべつぼしゅう しがんしかく 学 習 支 援（公立高校受験特別募集の志願資格）について
内容	<p>かながわけんがいこくじんとうこうこうじゅけんとくべつぼしゅう しがんしかくちゅう 神奈川県外国人等高校受験特別募集の志願資格中に</p> <p>れいわ ねんにゆうがくしゃせんぼつ にゆうこくご ざいりゅうきかん ねんいなく ねんいなく 「令和4年入学者選抜は入国後の在留期間が3年以内から6年以内に 更新した。</p> <p>①神奈川県外国人高校受験の特別募集枠が増えてほしい。</p> <p>②志願資格中在留期間年数は6年から短くなって希望です。</p> <p>③学習支援は国、英、数科目の多い、社会と理科の学習支援を増やして ほしい。</p>
理由	<p>①2023年から、神奈川県在住外国人が毎年増えてますので在県特別募集枠が拡大 してほしい。</p> <p>②日本の高校へ進学する受験が必要です、海外での高校生は来日後進学できず、 （9年義務教育は終わりました。）その子供たちはフリースクールで1年間高校 受験ための勉強をして、現役中3の子どもたちと一緒に受験するしかない。 学習支援は基本の国、英、数より社会と理科を増えてほしい。 海外から来日の子供たちは日本の社会と理科を苦手な人が多い、弱点を克服する なら日本の高校受験で選べる学校が増えて道が広がる。</p> <p>③夜間高校が一つ選択。</p>
備考	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討し ています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください</p> <p>〔日本で生活する、日本の社会で馴染むは日本の社会と理科を勉強しなければなら ない。学習支援は国、数、英、社会と理科5科目が必要と思います。〕</p>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	<p>王 爽<2></p> <p>※提言の具体化を行い、内容を修正した</p>
タイトル	<p>在留カード更新に伴う関連手続きに関する総合的な情報提供体制の整備について。</p>
内容	<p>在留カード・特別永住者証明書の更新に伴い必要となる関連手続きについて、県が中心となり、外国人住民に対して総合的かつ分かりやすい情報提供を行う体制を整備する。</p> <p>具体的には、在留カードの更新時期や更新後に併せて手続きが必要となるマイナンバーカード、住民票、健康保険等について、一覧性のある多言語資料を作成し、県公式サイトや多文化共生関連ポータル、外国人相談窓口等で活用する。また、市町村窓口において共通して使用できる案内ツールを整備するとともに、県の外国人向け SNS等を活用した注意喚起や情報発信を行う。</p> <p>あわせて、県内で把握された相談事例や課題については、関係機関や国（出入国在留管理庁）と共有し、より分かりやすい案内の実現に向けた連携を進める。</p> <p>備考（関連情報）</p> <p>・かながわ会議（第8期）提言</p> <p>（3－1）旧外国人登録証明書から在留カード、特別永住者証明書の切り替えおよび更新時期に日本の免許証と同じように更新案内の通知を送付すること。</p> <p><https://www.pref.kanagawa.jp/documents/115873/implementation_status_8th.pdf> P2</p> <p>FB：(1)については、他団体から出ている要望書も踏まえ、「国への要望」を行った。</p>
理由	<p>※既に国への要望は行われていますが、現場では依然として分かりにくさが残っているため、県として今できる具体的な対応を提言しています。</p> <p>在留カードの更新時期や更新後に必要な手続きが十分に理解されおらず、マイナンバーカード等の更新漏れにより、行政サービスの利用や日常生活に支障が生じる事例が見られる。</p> <p>本課題については、かながわ会議（第8期）においても類似の提言が行われており、県からは他団体からの要望書も踏まえ「国への要望」を実施したとの回答が示されている。一方で、現時点では外国人住民にとって分かりやすい案内の仕組みが十分に整備されたとは言い難く、具体的な改善が進んでいない状況が見受けられる。</p>

	<p>在留カード更新手続き自体は国の所管であるが、更新に伴う生活上の関連手続きは市町村や各機関に分散している。市町村を横断して情報を整理できる県が主体的に関与し、国への要望に加えて県レベルでの情報提供を進めることで、外国人住民の不安軽減とトラブルの未然防止につながる。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>なし</p>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王 爽<3>
タイトル	<p>外国免許切替の混雑について、県が実態把握を行い、県警との連携と国への要望を通じて改善を図る。</p> <p>※提言の具体化を行い、内容を修正した</p>
内容	<p>① 実態把握・データ整理</p> <p>県が主体となり、県警察本部と連携しながら、以下の実態を把握・整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国運転免許切替希望者数の推移 ・書類審査・筆記試験・実技試験それぞれの待機期間 ・予約方法（電話・ネット等）による課題の整理 ・利用者（外国人）からの相談・困りごとの傾向 <p>これらのデータを整理・可視化し、課題を県として明確にする。</p> <p>② 県警察本部との調整・連携の強化</p> <p>実態把握の結果を踏まえ、県が調整役となり、県警察本部に対して次の点について協議・検討を呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類審査および筆記試験へのネット予約導入の可能性 ・試験の受付枠や実施体制の見直しによる混雑緩和 ・人員配置や業務効率化による運用改善 <p>県単独では制度運用を変更できない部分についても、県警との連携により改善の余地を探る場を設ける。</p> <p>③ 国（警察庁）への要望・意見集約 ※必要性要検討</p> <p>県内の実態や課題を整理した上で、県として国（警察庁）に対し、以下を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な制度・運用見直しの検討 ・ネット予約導入などの標準化に向けた方針提示 ・人員・予算措置を含めた支援の検討 <p>県が窓口となって意見を集約し、現場の声を国へ届ける。</p>
理由	<p>外国人住民の増加や運転手不足への対応を背景に、外国運転免許切替手続きの需要は今後も増加すると見込まれる。一方で、現行の運用では予約の取りづらさや待機期間の長期化が、外国人の就労や日常生活に影響を及ぼしている。</p>

	<p>これらの課題は県警察本部のみの問題ではなく、外国人住民の生活支援や多文化共生を推進する県全体の課題である。</p> <p>県が主体的に実態を把握し、県警との連携および国への要望を行うことで、現実的かつ段階的な改善が期待できる。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

提言構想メモの記入様式

名前	ドン フン タオ
タイトル	AI × 外国人材育成による 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクト
内容	<p>神奈川県における外国人材の育成と地域定着を目的として、以下の施策をAI技術と連携しながら段階的に実施します。</p> <p>(1) AI日本語・職業スキル教育プラットフォームの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> AI が個々の外国人の理解度・職種・母語に応じて学習内容を最適化(介護・製造・飲食・IT など) 発音矯正や自動翻訳機能付きの会話練習アプリも連携 <p>(2) AI による生活・行政支援サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人が直面する「医療」「子育て」「行政手続き」などに関して、LINE や Web経由で使える AI チャットを設置 対応言語：英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語など <p>(3) 企業・地域団体とのマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> AI が人材のスキルデータをもとに適切な職場・地域ボランティア・NPO活動をマッチング 離職や孤立を防ぎ、コミュニティ定着を促進 <p>(4) 行政・教育機関向けダッシュボードの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人材の学習進捗・定着状況・相談履歴を AI で分析し、政策判断に活用 効果検証しながら、横浜・川崎・藤沢などのモデル自治体から順次展開
理由	<p>(1) 労働力確保と産業維持のため</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県では 2040年までに高齢化と生産年齢人口の急減が予測されています。 外国人材は今後、介護・物流・建設・製造など県内主要産業の中核を担う存在となります。 早期育成と定着支援を AI で効率化することで、人手不足への備えが可能になります。 <p>(2) 「定着支援」が他県との差別化ポイントになるため</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の愛知県・大阪府も外国人材活用を推進していますが、教育・定着のインフラ整備にはまだ課題が残っています。

	<ul style="list-style-type: none"> • 神奈川県がAIを活用した支援体制をいち早く整備することで、**「外国人に選ばれる県」「企業に選ばれる県」**としてリードできます。 <hr/> <p>(3) 災害・感染症時の多言語対応の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地震・台風・感染症などの非常時に、AIによる自動翻訳・緊急連絡体制があれば外国人住民の命を守れます。 • これは住民全体の安全にもつながる、極めて実用的かつ差別のない施策です。 <hr/> <p>(4) 観光・グローバル人材戦略とも連動可能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教育を受けた外国人材が、観光・貿易・文化交流の担い手となることで神奈川県の国際化を牽引できます。 • 特に留学生や技能実習生が神奈川に長く住み続ける流れが生まれれば、人口減少の歯止めにもつながります。
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 10px;"></div>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	バ ジベル
タイトル	交 流 のイベントを増やす
内容	<p>異なる文化や価値観を持つ人々が直接交流すること。国際社会に繋がることがあります。</p> <p>「ふるさと紹介」「日本語スラングを使ってみよう」など、テーマを設けた会話イベントも効果的</p> <p>日本人も参加しやすいように、料理、音楽、スポーツなどの趣味を活かした交流を設計。</p> <p>お年寄りと若者の交流として、昔話を聞く会や茶道体験などを企画</p> <p>外国人が日本の夏祭りに参加して食文化を共有する</p> <p>バイリンガル広報、興味ベースのイベント、SNS活用、特典提供</p>
理由	<p>外国人の増加データを確認しました。</p> <p>外国人住民の増加に伴い、互いに支え合いながら生活する、日常的な交流の機会を増やすことが不可欠である。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/kanafan/index.html]</p>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	韓 昌熹
タイトル	多文化共生防災パートナーシップ（神奈川モデル）会議創設提案
内容	<p>（会議で話したいこと）</p> <p>神奈川県内の外国籍県民への災害時支援を円滑化するため、平時から官民・国籍横断のネットワークを構築することを提案する。県の災害多言語支援センターに加え、外国人コミュニティ、大使館、国際交流協会、民間企業、NPO 等が参画する多層的な連携体制を整え、平時には情報共有・訓練・団体の把握を行う。災害発生時には、外国籍県民の状況把握、情報伝達、国外・民間からの支援受入れなど、行政単独では困難な機能を協働で補完し、災害弱者への支援を迅速化する「ネットワーク」を創設する。</p> <p>ネットワークの主要機能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平時（年間1～2回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有、県からの防災情報・制度説明 ・ 団体情報の棚卸し（人数、支援力等） ・ 国籍別団体との顔つなぎ 2. 災害時 <p>情報伝達ラインの一斉起動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体に状況把握（被害・行方不明・支援ニーズ）を依頼 ・ 物資・人的支援の受援窓口の一本化 ・ 団体→外国籍住民への「情報」伝達 ・ 外国人コミュニティの避難行動支援 3. 災害後（復旧期） <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体からの課題吸い上げ ・ 各外国籍住民のフォローアップ <p>構成案</p> <p>【第1段階：中核ネットワーク団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かながわ国際交流財団 ・ 外国籍県民かながわ会議 ・ 国際交流協会（市・町村） ・ 中規模以上の外国人団体（大使館含む） ・ 民間企業（通信・物流・生活関連） <p>↓</p> <p>【第2段階：実働・地域レベルネットワーク】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・在日〇〇人コミュニティ（地域会） ・商店街（中華街など） ・留学生団体（学生会など） ・NPO/NGO（多文化・福祉・防災）
理由	<ul style="list-style-type: none"> A. 連携体制の現状把握とギャップ B. 外国籍県民への情報伝達の課題 C. 外国人コミュニティの弱さ D. 国外・民間の物資・人的支援の受入れ課題 E. 平時からの関係構築の必要性
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	李 方舟
タイトル	外国人心理互助会について
内容	<p>外国人の方々のメンタルヘルス維持を支援するため、外国人心理互助会を設立したいと考えています。</p> <p>外国人の皆さんが心の健康を維持できるよう、外国人心理互助会を設立したいと思います。外国人心理互助会では、誰もが自分の感情や経験を共有し、互いに支え合うことができます。</p>
理由	<p>20～30%の人がメンタルヘルスの問題を抱えています。外国人は言語の壁や社会統合の課題により、メンタルヘルスの問題を抱えやすい傾向があります。私たちは、外国人心理互助会を通じて、外国人と住民を支援したいと考えています。</p>
備考	<p>1. 目的とタスク： 外国人心理互助会の設立を通じて、外国人に心理サポートを提供します。 このサポートグループは非臨床的なものです。 参加者に深刻な問題があり、医療介入が必要なことが判明した場合は、心理カウンセリングや医療機関の情報を提供します。</p> <p>2. ニーズ分析： 私の友人の中には、メンタルヘルスの悪化を経験した人が何人かおり、今もなお苦しんでいる人もいます。</p> <p>3. 目標： 2年間で10人のメンタルヘルス向上を支援する。 参加者は3ヶ月ごとに心理質問票を用いて自己評価を行う。参加期間中の改善が十分であるとみなす。 集合場所は、利便性の高い横浜市または川崎市とする。</p> <p>4. 対象者： 神奈川県在住者（主に外国人）</p> <p>5. 提供内容： 外国人向けの定期的な心理サポート活動</p> <p>6. 市場分析： 現在、外国人向けの心理サポート団体は存在しない。日本には心理学会や公認心理師協会など、既に団体は存在するが、これらの団体は本提案の目的に合致しない。</p>

7. 組織体制：

責任者：2名

8. マーケティング計画：

チラシを印刷する。ソーシャルメディアとウェブサイトで情報を発信する。
横浜国際文化交流ラウンジと区役所でチラシを配布する。

9. 運営計画：

当初は日本語と英語の両方で活動を行います。プロモーション期間の2ヶ月後から、プログラムは隔週で運営を開始し、需要に応じて調整します。
集合場所が必要な場合は、市民センターの会議室までご連絡ください。
このグループは相互支援グループであるため、専門家の指導なしでも実施できます。活動が進むにつれて、専門家の指導を求めることも検討します。

10. 財務計画：

会員は少額の会費を支払い、主に会場レンタルとプロモーション費用のための一定の補助金が支給されます。

11. リスク管理：

感情的または攻撃的な行動があった場合、事務局長が介入します。緊急対応：例えば、参加者が緊急事態に遭遇した場合は、119番に電話して救急医療サービスを受けます。
参加者数が多すぎる、または少なすぎる場合は、グループを複数のグループに分けます。

12. タイムライン：

提案が承認された後、準備を開始し、その後2ヶ月間のプロモーション活動を行います。その後、運営を開始し、少なくとも3年間継続します。

13. 評価と影響分析：

参加者数、満足度アンケート、心理尺度を用いて分析を行います。

14. 結論と提言：

21世紀以降、外国人を含む多くの方々の心理的問題が深刻化しています。特に外国人は、言語や文化の違いにより、孤立感や無力感を抱きやすくなっています。私たちは、心理的相互扶助グループを通じて、こうした方々を支援していきたいと考えています。